

問1 大政奉還の直後、天皇を中心とする新政府の樹立を宣言した命令を何という？

1. 王政復古の大号令 2. 五箇条の御誓文 3. 廃藩置県 4. 大政奉還

問2 明治新政府が旧幕府軍との戦いに勝利し、全国を統一した一連の内戦を何という？

1. 西南戦争 2. 戊辰戦争 3. 日清戦争 4. 日露戦争

問3 明治政府の新しい政策や税制度に対して、不満を持った農民たちが集団で起こした反乱や抵抗運動を何という？

1. 逃散 2. 打ちこわし 3. 強訴 4. 一揆

問4 戊辰戦争の終盤に、五稜郭を拠点として新政府軍に最後まで抗戦した幕府側の軍隊を何という？

1. 長州藩兵 2. 新政府軍 3. 旧幕府軍 4. 薩摩藩兵

問5 地租改正などの重い税負担に苦しむ農民が、明治政府に対して起こした抵抗運動を何という？

1. 一揆 2. 革命 3. 政変 4. 内乱

問6 19世紀後半、欧米列強がアジアに進出する中で、日本が維持しようとした国家の状態を何という？

1. 自治 2. 独立 3. 連邦 4. 統合

問7 戊辰戦争の舞台となった、北海道にある都市の名前は？

1. 横浜 2. 長崎 3. 函館 4. 新潟

問8 明治政府が日本で最初の近代的な学校制度を発布した年はいつ？

1. 1874 2. 1873 3. 1871 4. 1872

問9 明治政府において、初代の内務大臣にあたる官職に就き、殖産興業を推進した役職を何という？

1. 内務卿 2. 太政大臣 3. 参議 4. 右大臣

問10 明治天皇が神に誓う形式で「五箇条の御誓文」を発表した年は何年？

1. 1867年 2. 1869年 3. 1871年 4. 1868年

問11 明治政府が士族に対して禁止した、身分を象徴する武器の所持を何という？

1. 目安箱 2. 帯刀 3. 切腹 4. 徒党

問12 幕末から明治時代にかけて、『学問のすゝめ』を著して欧米の近代思想を日本に紹介した啓蒙思想家は誰？

1. 渋沢栄一 2. 津田梅子 3. 福沢諭吉 4. 新渡戸稲造

問13 1867年に江戸幕府が朝廷へ政権を返上し、天皇中心の政治に戻ることを宣言した出来事を何という？

1. 王政復古の大号令 2. 五箇条の御誓文 3. 大政奉還 4. 廃藩置県

問14 「天は人の上に人を造らず」という一節で始まる、福沢諭吉が執筆した啓蒙書を何という？

1. 福翁自伝 2. 明六雑誌 3. 西洋事情 4. 学問のすゝめ

問15 明治政府が全国の藩主から土地と人民を天皇に返還させた政策を断行した年は何年？

1. 1867年 2. 1869年 3. 1868年 4. 1871年

問16 明治政府が掲げた、経済を発展させて軍隊を強化するという政策のスローガンを何という？

1. 文明開化 2. 廃藩置県 3. 富国強兵 4. 殖産興業

答え合わせ・解説

問1	答え 1 王政復古の大号令	1867年12月、薩長などの倒幕派が天皇の権威を背景に発したのが「王政復古の大号令」です。これにより、將軍職の廃止と天皇中心の新政府の樹立が宣言され、徳川家による支配が完全に終わりました。
問2	答え 2 戊辰戦争	1868年の鳥羽・伏見の戦いから始まり、東北地方、最後は北海道の箱館まで続いた内戦を指します。近代的な軍制を整えた新政府軍が、旧幕府の残存勢力を次々と制圧しました。この戦いを通じて、日本は武家による封建制から、天皇を頂点とする近代的な統一国家へと大きく舵を切ることになりました。
問3	答え 4 一揆	これらの急激な社会変革に対し、農民たちは「一揆」を起こして学校を焼き払ったり、役所を襲撃したりして不満を表明しました。特に新制度導入直後の混乱期には、各地でこうした抵抗運動が多発しました。
問4	答え 3 旧幕府軍	榎本武揚や土方歳三らが率いる彼らは、最新の兵器を備え、西洋式の城郭である五稜郭に立てこもって激しく戦いました。しかし、物量に勝る新政府軍に包囲され、力尽きて降伏しました。
問5	答え 1 一揆	この重い負担に抗議して、全国各地で大規模な一揆が起こりました。政府は、これら社会的な動揺を抑えるために、1877年に地租の税率を3%から2.5%に引き下げる措置をとりました。
問6	答え 2 独立	明治政府にとって最大の目標は、国家の独立を守り、欧米諸国と対等な立場に立つことでした。そのために、政治、経済、軍事のすべてにおいて近代化を急ぎ、西洋の新しい知識や技術を積極的に取り入れました。
問7	答え 3 函館	
問8	答え 4 1872	1872年、政府は全国的な学校制度である「学制」を發布しました。この制度により、身分に関わらずすべての子供が教育を受ける機会を得ることを目指しました。
問9	答え 1 内務卿	1873年に設置された内務省の長官を内務卿と呼びます。初代の内務卿には大久保利通が就任し、殖産興業政策を強力に推進しました。このポストは後の内閣制度における内務大臣へと引き継がれました。
問10	答え 4 1868年	1868年、明治天皇が神々に誓う形式で「五箇条の御誓文」が発表されました。ここには、身分を問わず広く会議を興すこと、知識を世界に求めることなど、新しい近代国家の目指すべき姿勢が示されています。
問11	答え 2 帯刀	1876年の「廃刀令」により、公務中を除き士族が刀を腰に差すこと（帯刀）が禁止されました。これにより、武士の象徴が取り払われ、士族と平民の身分的な境界が形式的にも解消されました。
問12	答え 3 福沢諭吉	福沢諭吉は幕府の使節団として欧米を視察し、そこで学んだ近代的な考え方を日本に広めました。代表作『学問のすゝめ』では、身分にとらわれず、実学を学ぶことの重要性を説いています。また、慶應義塾を創設し、数多くの人材を育成しました。
問13	答え 1 王政復古の大号令	1867年12月9日、京都御所において「王政復古の大号令」が出されました。これにより、徳川將軍家の権限が完全に廃止され、天皇のもとに天皇・摂政・関白などを廃した新しい政府が置かれることが宣言されました。
問14	答え 4 学問のすゝめ	『学問のすゝめ』は、福沢諭吉が人々に平等と学問の重要性を説くために著した書物です。「天は人の上に人を造らず」という言葉で有名で、人間は生まれながらに平等であり、自らの知性を磨くことで独立した個人となるべきだと説きました。
問15	答え 2 1869年	1869年、薩摩・長州・土佐・肥後の四藩主らが主導し、版籍奉還が行われました。これにより、藩主は藩知事に任命されましたが、領地と領民の支配権を天皇（政府）に返上することとなりました。
問16	答え 3 富国強兵	富国強兵とは、産業を育成して経済を豊かにし（富国）、軍備を拡張して防衛力を高める（強兵）という政策です。殖産興業による工場の建設や、徴兵令による軍隊の近代化がこの方針の下で進められました。